

## (4) 戦没者および戦争犠牲者への哀悼や新たな顕彰の形に関することについて

### 第1回から第3回会議までの意見や課題について

#### <第1回会議>

- ・ 広く一般市民が参加できるような式典が望ましい。
- ・ あわせて平和学習の在り方も検討する必要があるのではないかな。
- ・ 遺族のお年寄りから子どもが直接話を聞けるような取組、世代間を埋める取組を地域で広げていくと良い
- ・ 遺族会や行政だけでなく区長会や子供会を巻き込むと、違った広がりとなるのではないかな。
- ・ 地域での出来事を広く見せていくような形で地域を巻き込む必要があるのではないかな。

#### <第2回会議>

- ・ 平和祈念式典や平和学習も含めると、かなり広く課をまたいで様々な取り組みを行っていく必要がある。
- ・ 8月の第1土曜日に開催される米原市平和祈念式典ともう一つ遺族会では仏式で法要をしている。遺族会としては、1年に1回くらいは法要的なものを新たな「平和の礎」のところでやらせていただきたい。
- ・ 平和祈念式典会場の近接地で、式典の数週間から1か月程度前から、戦時中地域でどういうことが起きたかということがわかるような展示をさせていただいて、追悼と平和の思いを込めた式典をいつやりますという風な形の広報もして、両輪的な形でできればどうか。
- ・ 展示などについては、文化財の担当者も本会議にオブザーバーとして是非参加していただきたい。
- ・ 折角、いいものが出来るのだから、式典も1回だけでは寂しいし、次世代を担う子どもたちが活用できるようなものになればと思う。
- ・ 地域での体験を地元の方が知っている事をやりながらそういうことを集める取り組みを年に1回は行うとか、式典だけに終わることにならないように提案する。
- ・ 今後も戦争に関する資料を集めることは継続していかなければいけない。もう一つは、子どもたちに興味を持っていただくためには、実体験をするということが非常に大事だと思う。平和祈念公園の中に、防空壕などを作り、親子で体験いただくのはどうか。

#### <第3回会議>

- ・ 意見なし

### 答申に向けてのまとめ

- ・ 誰もが参加しやすい式典を検討していきます。
- ・ 滋賀県平和祈念館と連携するなどして事業を展開するなど新たな取り組みも計画していきます。
- ・ 令和5年度建立予定の「平和の礎」での平和祈念式典は令和5年8月15日の終戦記念日を起点として、その前後の日を開催日として準備を進めていきます。
- ・ 地域でどういうことが起きたかというものを式典の2～3週間前よりパネル展示するなど、式典に向かって盛り上げていくなど、人を集める取り組みを行事化していくことを検討します。

- 平和祈念館から戦争に関するパネルを借用、市内の戦争遺跡について、大野木の旧柏原村穀物倉庫や磯の機銃掃射などの遺跡を事前に巡るなどのイベントなどの取り組みの推進を検討します。
- 地域での平和学習の取り組みの紹介など、地域の身近な出来事を収集することを進めていながら、式典だけに終わることがないように提案していきます。